

東近江市のいいとこ・いいこと・いいひとを紹介する広報紙

にじまち

VOL.14

2016.09 発行



特 集

防災訓練を通して地域のつながりへ

～五個荘地区まちづくり協議会～

彩

アマチュア無線を通じて知る喜びを子ども達へ

～無線倶楽部～

東近江人

一本の紐からの「美」を伝える

～田中 年子さん～

マチコト

生みだす喜びを感じながら

～HONMACHI 93～

防災訓練を通して 地域のつながりへ

9月は防災月間です。今年は熊本で地震があり、日本中いつどこで地震が発生しても不思議ではない状況が生まれています。

五個荘地区まちづくり協議会は4年前から、多くの方が参加する防災訓練をしています。毎年地区ごとに分けて、そして昨年は全体の防災訓練として行いました。取り組みの内容を、五個荘地区まちづくり協議会の会長の小杉さん、安心・安全事業部の大橋さん、事務局長の田島さんから伺いました。



↑子どもたちが参加しやすくするためのカード



↑バケツリレーの様子

↑救護訓練の様子

五個荘地区 総合防災訓練 参加証 (水消火器) 消火訓練

五個荘中学校 年 級 氏名
平成27年8月29日(土)
五個荘地区まちづくり協議会



■課題も見つかる訓練

毎回、その年の訓練が終わると、すぐ次年度の準備を始めますが、毎年の訓練から新たな課題が生まれるので、その課題の解決に取り組みます。地域の連携を行うまでは大変で、駐車場の確保なども毎回苦労していることです。また、平成26年に大雨で避難指示が出たことがありましたが、その避難所の鍵や電源の場所がわからず、というトラブルもあり、毎年の訓練を

生と40名の教職員、自治会員を合わせて延べ3650人の参加がありました。元々は、自治会に広げてほしいという目的から始まった防災訓練。中学生や教職員との交流が深まるという効果もありました。

また一昨年より、この防災訓練時の安全部面の確保も考え、体調変化等に対してのマニュアル作りも行っていました。災害時の要援護者の対応も考え、2年前からは地域にある特別養護老人ホームの協力も求めて、災害時要援護者の対応もつくりました。

■これからまちづくり協議会の役割として

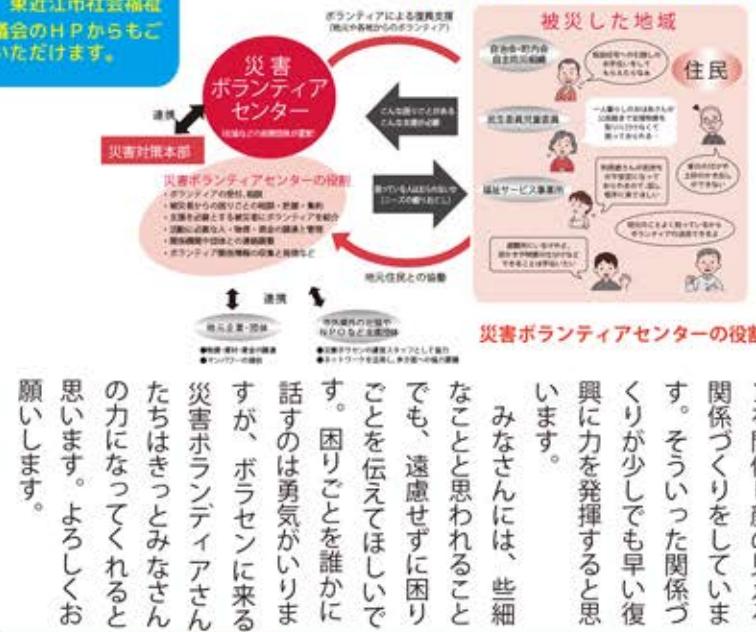
五個荘まちづくり協議会は、昨年設立10周年を迎えました。これまでまちづくり協議会は何をするところかの議論がありましたが、住民ができる防災や福祉の活動を行うことで、理解が進んだのではないかと言われます。滋賀県は災害がないので、防災意識の向上のために訓練の意義

があるので、今後も毎年工夫しながら訓練を行います。防災訓練に住民が参画する仕組みをから、地域コミュニティがつながるために、後の活動を進めていかれます。

連絡先

五個荘地区まちづくり協議会
住所：東近江市五個荘小幡町318（五個荘コミュニティセンター内）
TEL：0748-48-7303

2011年9月発行の第
39号に掲載していま
す。東近江市社会福祉
協議会のHPからもご
覧いただけます。



東近江市社会福祉協議会の方に聞きました

災害が発生し、市から要請があると、災害ボランティアセンター（ボラセン）が設置されます。ボラセンは支援を必要とする人と、ボランティアをつなぐ拠点となります。

なことと思われることでも、遠慮せずに困りごとを伝えてほしいです。困りごとを誰かに話すのは勇気がいりますが、ボラセンに来る災害ボランティアさんたちはきっとみなさん力になってくれると思います。よろしくお願いします。



↑実際のe防災マップの画像



↑実際に自治会でマップを作られました

おめでとうございます！
能登川地区まちづくり
協議会と自治会で作る防
災マップの取り組みは
2015年度の防災コンテス
トで特別奨励賞を受賞さ
れました。

災害が起きた時に～各機関の取り組み～

東近江市役所防災危機管理課の方に聞きました

災害が起こることを防ぐことはできませんが、被害を減らすことができます。被害を最小限にとどめるためには、自分が住んでいる地域で、どのような災害が想定されているのかを知ることが第一です。そうすれば、どのような備えをすればよいのかが見えてきます。東近江市では防災マップを作成し、ハザードマップや災害時に有効な情報を持っています。今一度、防災マップを確認し災害に備えてください。防災マップは市のHPからご覧いただけます。



↑防災マップ

ハザードマップとは・・

災害発生時の危険性などを示した地図のこと。東近江市防災マップには自身と洪水のハザードマップがあり、想定される震度や浸水深、土砂災害の危険箇所などが地図上に示されています。

コラム

能登川地区の取り組み「e防災マップ」

能登川地区では53の自治会と能登川地区まちづくり協議会が協力し、インターネットを通じた防災マップ作りに取り組まれています。それぞれの自治会で災害時に危険な個所等を調べ、写真に残したり、避難所、避難経路を確認します。その内容を防災マップに入力すると、能登川地区全体で共有できる仕組みです。自治会単位で取り組むことで、いつでも詳細な情報を更新することができます。このマップの強みは地域の目線で危険な個所を発見できることです。特に、能登川地区は古くから洪水が多く発生した地域です。その教訓を生かし、過去に浸水した地点や被害の状況を記録するにも役立っておられるそうです。それぞれの自治会で積み重ねた情報をお伝えすることは日頃のつながりを生みます。そのことが、いざという時の助け合いに結びつきます。また、このマップは災害時に能登川地区以外の方が救援に駆けつけてくださった時にも避難所や危険個所を把握するのに役立ちます。災害はいつ発生するかわからない。だからこそ、普段から危険な所を把握する意識とされることをみんなで共有することが大切ですね。

こうばコレクション in
ひがしおうみ

ここでは、東近江市での協働の事例をご紹介します。

第2弾 万が一に備える地域力



↑災害図上訓練の様子

D I Gとは…災害が発生した場合を想定し、地図上で災害対応策を考えることができる防災訓練です。

↑女性消防団員による
救命講習の様子

市防災危機管理課が平成24年に開催したD-I-G（災害図上訓練）ファシリテーター養成講座を受講された方が、自治会へのD-I-G出前講座を実践されています。

災害時には、住民同士のつながりや地域の絆が大切だといわれています。D-I-Gは、老若男女問わず地域住民全員が参加することができる訓練です。講座を受講したD-I-Gファシリテーターを中心に防災に対する取組が地域に広がっています。

消防団員は消防署の職員とは違う、普段さまざまな職業につきながら、火災や水防など有事の際や予防活動などに出動して地域の安心・安全を守っています。東近江市の消防団には女性団員がおられ、自治会イベントやサロンなどで啓発活動もしていただけますよ。

また、消防では団員と消防職員が一緒に自治会内を戸別訪問し、火災警報器や消火器など火災への備えがあるかどうか、消防点検の啓発活動もされています。

消防団員にできること、消防職員と一緒にできること、それぞれの役割を果たしながら、いろいろな活動をされています。

市内の養成講座から広がった
地域での取組み

地域の防災リーダー..消防団員

消防団員は消防署の職員とは違

い、普段さまざまな職業につきな

がら、火災や水防など有事の際や

予防活動などに出動して地域の安

心・安全を守っています。

東近江市では女性団員がおられ、

自治会イベントやサロンなどで啓

発活動もしていただけますよ。

また、消防では団員と消防職員

が一緒に自治会内を戸別訪問し、

火災警報器や消火器など火災への

備えがあるかどうか、消防点検の

啓発活動もされています。

消防団員にできること、消防職

員と一緒にできること、それぞれ

の役割を果たしながら、いろいろ

な活動をされています。

地域に入ってまちづくり～地域担当職員の3ヶ月～

6月30日の任命式を経て、68人の地域担当職員が各地区まちづくり協議会で活動をスタートさせました。地域担当職員の関わり方や役割は、14地区それぞれ違います。どんな人がどんな役割をしていくのか、今回は平田地区と八日市地区について紹介します。

平田地区

平田地区では今年度と来年度で地区的まちづくり計画を改定するため、改定作業の中

心的なメンバーとして関わっています。これからアンケートや座談会を通じて、平田の課題はなにか、将来どんな地

域にしていきたいか、地域の皆さんと一緒に考えていきます。

↑平田地区的地域担当職員です。
よろしくお願いします。

八日市地区では、地域のことを知ることから始めようと「まち歩き」を行い、まちづくり協議会の会議で魅力に感じた場所などを発表しました。地域に新しい風を送り込む役割を期待されており、まずは地域の魅力を引き出せる取組から一緒に考えていきたいです。

八日市地区



地域担当職員の名札は、昨年「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞の大賞を受賞された一般社団法人kikitに作成してもらつた木の名札です。

地域担当職員の名札は、昨年「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞の大賞を受賞された一般社団法人kikitに作成してもらつた木の名札です。

地域活動応援隊は、地域のイベントや活動に参加・協力する市職員有志で結成されたチームのことです。同期会や出身地域で集まつたチーム、個人など、いろんな形で登録され、地域の人と一緒に活動を盛り上げます。すでに湖東地区でのコトナリエのスタッフや、平田地区の雪野山歴史まつり水鉄砲合戦のスタッフ、蒲生地区での川づくり事業の草刈りや、あかね夏祭りの盆踊りなどに参加をしています。

地域活動応援隊

発行：東近江市市民協働推進委員会

東近江市では、協働によるまちづくりの指針となる条例及び計画をより実効性のあるものにして総合的に推進するためのしくみや制度を検討するために東近江市市民協働推進委員会を設置しています。



第20号



Corabook

Corabook is a local newspaper published by the City of Higashinada, Shiga Prefecture, Japan. It features news, articles, and photographs related to community engagement, disaster preparedness, and local events. The newspaper is available at various locations in the city.

設置箇所

東近江市役所
まちづくりネット東近江事務所



ぜ作動しなかったのかを一緒に
考える、そして失敗を経て、
成功した時の達成感と克服力

彩：アマチュア無線を通じて知る喜びを子ども達へ

「なにもしなければ確かに
失敗はしないでしょう。けれども成功もありえないのです」

近江商人の流を継ぐ探検家、西堀榮三郎の言葉です。

今回は西堀榮三郎記念探検の殿堂を拠点に活動している無線俱楽部という団体をご紹介します。無線とは電波を使い、世界中の人とコミュニケーションが出来る通信手段で、インターネットや携帯電話が生まれるずっと前からありました。個人で楽しめるアマチュア無線ですが、なぜ団体として活動されているのか、どんな活動をされているのか、その理由には「趣味」を超えた熱い思いがありまし

た。オリジナルラジオを親子で工作するイベントや、それを使って森の中で電波を発信する送信機を見つけ出すゲーム（FOXハンティング）の開催や、東近江市の防災訓練

では無線を使い避難所からの依頼や状況をボランティアセンターに伝達する訓練をされています。そして活動は無線だけにとどまらず、放射能の計測、光を構成するブリズムの分解、日食の観察など、活動範囲は科学の分野全般に渡ります。こうした活動は、親子一緒に取り組む内容が多く、その理由として、科学という未知の世界を、親と子が同じ立場で共に試行錯誤することが大事だからだそうです。上

手くラジオが鳴らない時、な

い」というのが一番の目的だと

いっています。そこで子ども達の受け皿は沢山ありますが、科学に興味のある子ども達の受け皿は少ない状況があります。そうした子ども達の受け皿になり、今の時代に合わせて子ども達自らが知識や技術力を向上に意欲的に取り組み、喜びに繋がるようにしてあげたい。西堀榮三郎精神を

子ども達に伝え、地域に新し

め、喜びに繋がるようにして

いる」ということが伝わりました。

た。西堀榮三郎の言葉が胸に突き刺さり、西堀精神が沸々と今でも生き続けているということがわかりました。



連絡先

無線俱楽部
(西堀榮三郎記念 探検の殿堂)
TEL: 0749-45-0011
IP: 050-5802-2291



ちょこっとバスで行く！ちょこっといいところ



ちょこっとバスで行く！ ちょこっといいところ

沖野玉緒線

1 文芸会館・青葉メディカル前



八日市文化芸術会館は湖東地域の文化センターとして舞台芸術の発展と鑑賞、展覧会などを開催されています。館内にはランチとカフェが楽しめるCeline（セリーヌ）という素敵なお店があります。季節限定のメニューがとにかく豊富です。

2 ピアゴ前



東近江行政組合消防本部があります。この消防本部は東近江市だけではなく、近江八幡市、日野町、竜王町、愛荘町の2市3町、5消防署4出張所の共同体制で火事や災害から住民の安全を共同で効率的にこの本部を中心に守っています。

3 芝原



芝原のバス停から少し北へ歩くと鈴鹿の山から西の湖そしてびわ湖へつながっている蛇砂川があります。見晴らしが良く静かで落ち着ける穴場です。春には桜が咲き、見たえがありそうですね。



田中 年子さん



今回の東近江人は、日本古来から伝わる「結び」を50年以上研究され、全国で「結び」を伝える活動を行っておられる日本結び文化学会副会長の田中年子さんをご紹介します。

東近江人：一本の紐からの「美」を伝える

「結び」の歴史は古く、日本に仏教が伝わった時に一緒に伝わったとされています。昔は、自分が所有するものに「結び」をし、それを目印や表示、合図として使っていました。それが、どんどん広がり、茶道や華道、能、狂言、そして戦国武将が身に着けていた鎧などに使用されていきました。そんな中、乱世では外

部からの異物混入を防ぐために、茶道役が独自の結びを作り、鍵として活用していました。そのことでさまざまな結びが開発され、種類も増えていったとされています。

田中さんがこの「結び」と出会ったのは、もう50年以上前になるそうです。初めは、茶道を習っていたときに、茶道の道具をいれる袋である「仕道」を結んでいたのです。初めて「日本らしい美」を感じたのが丁寧で「日本らしい美」を感じることがで

たことがきっかけだそう。毎日使うものがその人の日常を作る。その思いを作家活動を通して伝えておられます。現在はアトリエでの制作、販売の他、地域のマルシェやイベントにも出店し、活動を広げておられます。地域おこし協力隊としては、現在使っている建物を活用したシェアアートリ工を計画中です。商店街にいろいろな作家が集う拠点をつくることで、それぞれがお客さんを呼び、地域が元気になればと考えておられます。



店内の様子

「生活に根ざしたものづくりたい」その言葉通り、北浦さんが作る革製品は財布やかばんといった生活に欠かせない雑貨が中心です。東京や大阪からこだわりの革を仕入れてオーダーメイドで製作します。北浦さんと革との出会いは高校生の時に革製の財布が欲しくて、自分で作ってみ

生みだす喜びを感じながら ～モノたちが暮らしを彩る～

HONMACHI93

地域おこし協力隊として八日市を拠点に作家活動をされているのが、今回ご紹介する北浦さんです。北浦さんは本町商店街にあるヴァーリーズ建築を「HONMACHI-93」というアトリエにして、革製品を作っております。大学生のときに、京都にあるシェアアトリエで作家として活動されていた経験を生かし、何かやってみたいとの思いで平成28年2月に八日市に来られました。

イベントのお知らせ

9月にHONMACHI93と商店街アーケードを会場に写真展を開催します。かつての商店街の写真や、北浦さんが旅へ行かれたときの写真を展示する予定です。

連絡先

HONMACHI93

開店日 12:00~19:00 (月曜日定休)

住所：東近江市八日市本町7-6 電話：070-5501-5969

HP: <http://www.kitaurayouji.com>



革製品

連絡先

ギャラリー花むすび

住所：東近江市川合町658

T E L : 0748-55-2308

※ギャラリー花むすびに行かれる際はお電話で予約を。



分もこんな素敵な結びを作りたい」という思いから始まったそうです。当時の茶道の先生である、橋田正園先生が「結び」の研究を始めておられ、それを手伝う形で始まりました。結びの数は無数にあり、昔の書を解き明かしながら解説されていました。時には、博物館などの学芸員さんにお手伝いをしてもらひながら、一つひとつ結び方を残しておられます。とても根気のいる作業を続けてこられたのは、「私は、結びが好き」ということ。お話を聞いていても、それが本当に伝わってきます。そして、田中さんが作る「結び」はとても美しい、形一つひとつが丁寧で「日本らしい美」を感じます。そんな田中さんの作品は、蒲生の自宅にあるギャラリーでも拝見することができます。全国で展覧会も開催されています。一本の紐から作り出される、「日本の歴史ある美」を感じてみてはいかがでしょうか。



↑花結びされた仕服

日市を拠点に作家活動をされているのが、今回ご紹介する北浦さんは、本町商店街にあるヴァーリーズ建築を「HONMACHI-93」というアトリエにして、革製品を作っております。大学生のときに、京都にあるシェアアトリエで作家として活動されていました。それが、何かやってみたいとの思いで平成28年2月に八日市に来られました。

「自分でなんでもやってみたいくらい」その言葉通り、北浦さんが作る革製品は財布やかばんといった生活に欠かせない雑貨が中心です。東京や大阪からこだわりの革を仕入れてオーダーメイドで製作します。北浦さんと革との出会いは高校生の時に革製の財布が欲しくて、自分で作ってみたかったです。普段使いやプレゼントに手作りの革製品、いかがでしょうか。

地域の情報かわら版

東近江文学会さんからのお知らせです。

第12回東近江文学祭を作品募集中！

東近江文学祭の作品募集を行っています。創作意欲が高まる秋に、短歌や俳句、詩などつくってみませんか。ぜひ皆さんの素敵な作品をお待ちしています。

作品募集内容

ア. 部門

①短歌 2首

②俳句 2句（当季詠）

③冠句 2句（冠題：菊一輪、母強し）

④詩 2編（自由）

散文の範囲内、長文は不可。

イ. 用紙

原稿用紙等自由ですが、部門ごとに別紙で出詠のこと。

ウ. 出詠料

1,000円（2部門まで）

※詳しくは「東近江文学会」のHPをご覧いただきかまたはお問い合わせください。

第12回東近江文学祭

日本には、短歌や俳句、詩といった言葉をつかって、表現する文化がありました。その美しい日本語を多くの人に知ってもらうために、毎年東近江文学祭を開催されています。日本語には、思いや情景を表現する無数の言葉があります。そんな言葉で表現される世界をぜひ、芸術の秋に楽しんでみませんか。

日時：平成28年11月19日（土）

13:00より

場所：湖東コミュニティセンター
1階多目的ホール



<問い合わせ>

東近江文学会

TEL：0748-22-2670（安田 昌弘）

NPO法人愛のまちエコ俱乐部からのお知らせです

よ～きて茶屋

「よ～きて、いっぷくしてって」東近江の和やかな日常を感じて頂ける一日限りの茶屋を開催しています。集落を散策しながら、地元ならではのもてなしで「いっぷく」してください。

いっぷく代：1軒につきおひとり様400円

エリア：愛東外（との）町エリア

募集中

地域のお知らせ「にじまち」に掲載しませんか？

地域の情報を掲載させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ：NPO法人まちづくりネット東近江

TEL：0748-56-1277

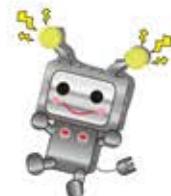
市民投稿番組コーナー「まちのわ」

市民投稿番組



市民投稿番組コーナー

「まちのわ」



●今年度もまちのわを募集しています！！

東近江スマイルネットで自分で作った動画を流してみませんか。イベントの内容や趣味の動画など、どんなものでもお待ちしております。放送は、毎月第1週目の月曜日～日曜日の19:45～20:00です。

※放送時期は、都合により変更になる場合があります。

●これまでの放送内容

7月

タイトル：「びわこジャズ東近江
グランドフィナーレ in
市役所メインステージ」

投稿者：アイムーン

毎年春に開催されているびわこジャズを撮影しました。2日間で200組のグループが参加し、あちらこちらでライブ演奏が行われます。その中から最終日のフィナーレセッションの一部をまとめました。

8月

タイトル：「こども夏まつり」

投稿者：市辺地区まちづくり協議会広報部

7月2日に行われた市辺地区的夏まつりの様子を作品にしました。浴衣姿の子ども達がなつの訪れを感じさせてくれます。当日は賑やかな夏祭りとなりました。

ミニ動画講座開催しています



<次回の開催日>

9月21日（水）13:30～

定員：3団体（予約制）

7月21日にミニ動画相談会を開催しました。無料で使える動画制作ソフト、「ムービーメーカー」の使い方や、ビデオ撮影のポイントなど、個別の相談に応じました。参加者のなかには、今まで動画を撮影したことがない方もおられましたが、相談会を終えて「今度動画をつくってみる」と意気込んでいました。今後も月1回のペースで開催する予定です。動画作りは初めてという方でも、気軽にご参加くださいね！

動画の制作に関することや、投稿の仕方などお気軽に問い合わせください。

問い合わせ：東近江市パブリックアクセス推進協議会

事務局：NPO法人まちづくりネット東近江

TEL 0748-56-1277 MAIL: info@e-ohminet.com

information ～お知らせ～

地域を元氣にする事業に取り組みをめぐる見学会



東近江市で、地域を元氣にする取り組みを行っている4団体をめぐる見学会です。永源寺や、愛東、蒲生を中心に巡ります。4団体は、今年度から、ビジネスの手法を取り入れ、地域を元氣にする「コミュニティビジネス」に取り組まれます。そこで行われる事業を見学します。

日時：2016年9月28日（水）9:20～16:30（集合場所：大鳳会館駐車場）
見学先：クミノ工房（永源寺）、あいとうふくしモール（愛東）、
NPO法人愛のまちエコ俱楽部（愛東）、がもう夢工房協議会（蒲生）
参加費：2,000円（昼食代、お茶代、見学科など込）

※昼食は、野菜花でいただきます。

参加人数：20人（応募者多数の場合は、抽選）

参加締め切り日：2016年9月20日（火）17:00締め切り

問い合わせ先・申し込み先

NPO法人まちづくりネット東近江
TEL 0748-56-1277 IP 050-8036-0784

Mail info@e-ohminet.com

＜ミニ相談会＞

ちょっとした悩みを解決できるように専門家の方に来ていただき、ミニ相談会を開催しています。少人数だからこそできることや、学びがあると思います。ぜひご参加ください。

○会計相談 開催日程：2016年10月18日（火）14:30～

普段の会計の悩みやわからないことを税理士の方に相談できます。

○動画制作ミニ講座 開催日程：2016年9月21日（水）13:30～

情報発信をする中で、動画はとても有効なツールです。しかし、ビデオの撮影の仕方や、効果的に思いを伝えることができる編集の仕方などわからないことが多いと思います。そこで、撮影のプロであるケーブルテレビ「スマイルネット」の方に来ていただき編集の仕方や、撮影方法などを相談しながら学びます。

場所：まちづくりネット東近江事務所（住所：東近江市八日市緑町4-1）
定員：3件程度（要予約） 参加費：無料



日時：2016年12月3日（土）

場所：ショッピングプラザアピア4階

※随時情報は、「まちづくりネット東近江」のHPやFacebookなどでお知らせします。

開催決定！！

今年で、3回目となる、「わくわくこらぼ村」。10月から、参加してくださる団体を募集します。よろしくお願ひいたします。

information ～お知らせ～

伝えるコツセミナー

開催日時：2016年10月5日（水）
13:30～17:00

今回「NPO 広報力向上委員会日本NPOセンター・電通」のご協力により、開催します。自分たちの活動を多くの人に知ってもらうためにチラシやパンフレットなどを作成します。でも、どんな言葉の表現をつかったら相手に伝わるのでしょうか。団体の思いを伝えることができるためのコツを「伝えるコツセミナー」を利用してプロの方に教えていただきます。ぜひご参加ください。

場所：能登川コミュニティセンター別館研修室
(住所：東近江市躰光寺262)

定員：50名 参加費：500円

<講師>

鈴木 契氏

(株)電通関西支社 プランナー

実吉 威氏

認定特定非営利活動法人 市民活動センター神戸理事・事務局長

助成金についての学習会

開催日時：2016年10月13日（木）
13:30～15:30

これまでの活動以上に活動の幅を広げたい。でも助成金の申請は難しそう。そもそも助成金を獲得するためにはどうしたらいいの？助成金を獲得するためのコツをみんなで学びましょう。

*個別の相談もいたします。

場所：まちづくりネット東近江事務所
(住所：東近江市八日市緑町4-1)

定員：10名 参加費：300円（資料代として）

<講師>

遠藤 恵子氏

まちづくりネット東近江事務局長
准ファンドレイザー。

日常業務のちょっとした困り事の相談に応じます。

団体の運営を行う中で、日常の困り事について相談を受け付けています。例えば、会計や労務のこと、または、団体の情報発信のことなど、お気軽にご相談ください。また、会計と、動画撮影や編集についての専門家による個別相談会も行っています。お気軽にお尋ねください。

問い合わせ先

NPO法人まちづくりネット東近江

TEL 0748-56-1277 IP 050-8036-0784



今号の表紙

今回は、東近江人で紹介した、田中さんの作品です。これは、彦根藩主だった伊井家の結びだそうです。

問い合わせ

広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せください。

特定非営利活動法人まちづくりネット東近江

〒527-0023

東近江市八日市線町 4-1

TEL : 0748-56-1277 I P : 050-8036-0784

E-mail:info@e-ohminet.com

東近江市の情報を集めたサイト

東おうMe!!

<http://higashio-me.com>

広報紙「にじまち」の内容はこちらの
サイトにも掲載中です。ぜひ、ご覧ください。

発行月：6月、9月、12月、3月

発行数：1500部